

今年100歳を迎える佐藤愛子の痛快エッセイ。

2023年
3月
発売

女の背ぼね

【著者】佐藤愛子

定価1200円+税／四六判／1色・224ページ

女が魅力的に気持ち良く生き切るための指南書

幸福とは何か、夫婦の問題、親としてのありかた、老いについてなど、適当に賢く、適当にヌケていきるのが愛子センセイ流。おもしろくて、心に沁みる、愛子節が十分に楽しめます。女がスジを通して悔いなく生きるための指南書です。

戦いすんで
今は静かに
暮れつつあるのだ

【著者】佐藤愛子
(サトウ アイコ)

1923年大阪生まれ。甲南高等学校卒業。小説家・佐藤紅緑を父に、詩人・サトウハチローを兄に持つ。69年『戦いすんで日が暮れて』で第六十一回直木賞、79年『幸福の絵』で第十八回女流文学賞、2000年『血脈』の完成により第四十八回菊池寛賞、15年『晩鐘』で第二十五回紫式部文学賞を受賞。17年旭日小綬章を受章。



- 1章 苦労は必ずしも不幸ではない
幸福についての“女の背ぼね” 40~70代
- 2章 適当に賢く、適当にヌケている
私好みの“女の背ぼね” 50~70代
- 3章 慢性の病気を克服していくように
夫婦関係の“女の背ぼね” 40~60代
- 4章 女と母は強くあれ
親としての“女の背ぼね” 40~60代
- 5章 これが男というもの
男性に対する“女の背ぼね” 50~60代
- 6章 いつ死んでも未練はない
老いを生きる“女の背ぼね” 50~70代

※現在制作中のため、内容などが変更になる場合がございます

併売がオススメ！リベラル社の話題書

佐藤愛子の言葉 冊

桑原晃弥 著 定価1,000円+税 ISBN 978-4-434-31393-6

手配の都合上、_____までにご返送いただきますようお願いいたします。

番線	書籍	女の背ぼね		冊	拡大	A3 パネル	15冊以上	POP (ハガキサイズ)	5冊以上
		【著者】佐藤愛子				()枚希望	()枚希望		
		定価1200円+税／四六判／1色・224ページ				A4 パネル	15冊以上	テーブル (40cm×50cm)	30冊以上
		発行：リベラル社 発売：星雲社 ISBN 978-4-434-31811-5				()枚希望		希望(する・しない)	
ご注文日:		年	月	日	ご注文者様名:		様		

※弊社は取次委託配本を行っていないため、ご注文いただかなければ配本はございません。ご注意ください。
※冊数は減数させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

ご注文はこちら

リベラル社 **FAX 078-958-5581**

〒460-0008 名古屋市中区栄3-7-9 新鏡栄ビル8F TEL.052-261-9101 <http://liberalsya.com> info@liberalsya.com

